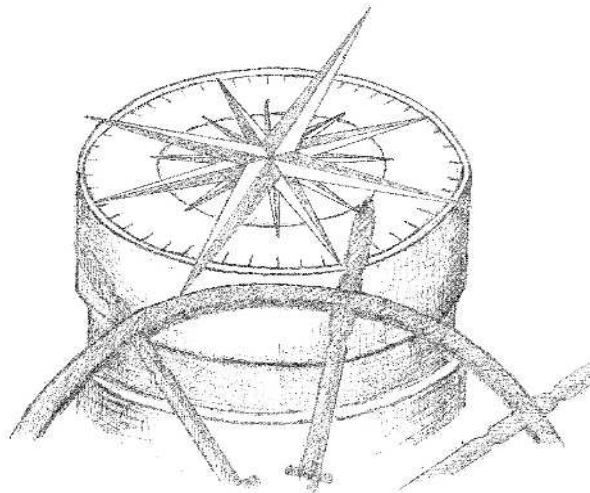


令和4年度
鹿児島学習定着度調査結果分析
(始良・伊佐地区)



令和5年3月
始良・伊佐教育事務所

令和4年度鹿児島学習定着度調査 始良・伊佐地区の結果概要

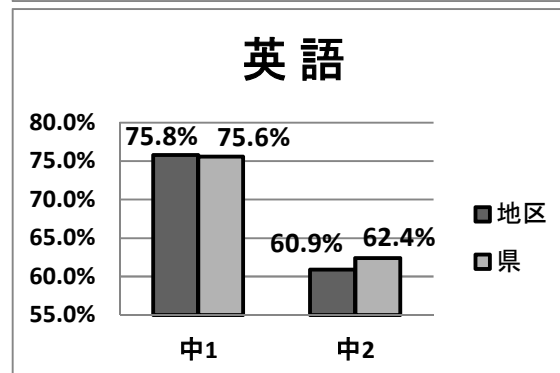
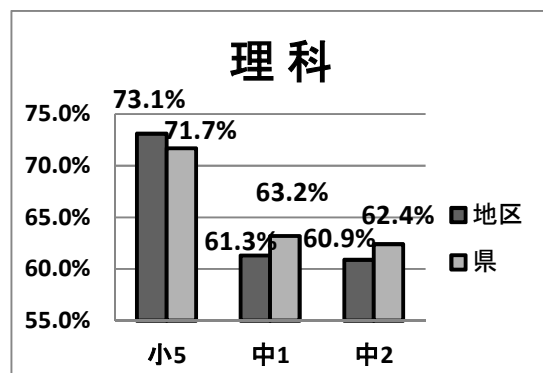
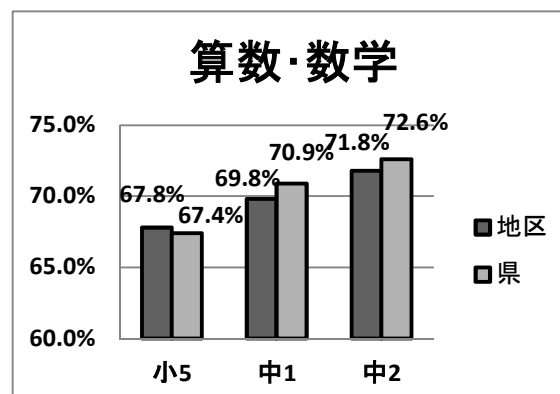
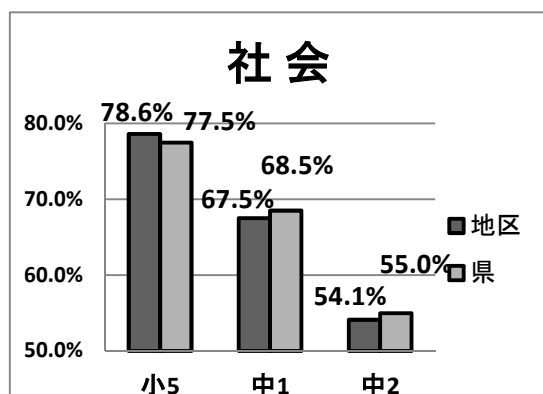
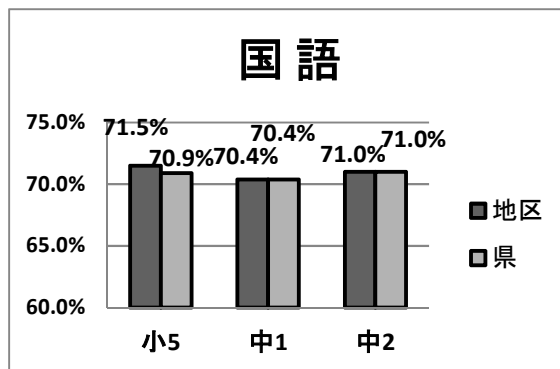
1 各教科の通過率

学年	教科	全体(設定通過率70%)			知識・技能			思考・判断・表現		
		地区	県	県との差	地区	県	県との差	地区	県	県との差
小5	国語	71.5	70.9	0.6	77.5	76.2	1.3	65.1	65.1	0.0
	社会	78.6	77.5	1.1	83.4	82.4	1.0	68.8	67.7	1.1
	算数	67.8	67.4	0.4	74.9	74.5	0.4	55.8	55.6	0.2
	理科	73.1	71.7	1.4	73.6	72.5	1.1	74.0	70.7	3.3
中1	国語	70.4	70.4	0.0	78.4	77.5	0.9	63.7	64.4	-0.7
	社会	67.5	68.5	-1.0	69.1	70.6	-1.5	64.3	64.2	0.1
	数学	69.8	70.9	-1.1	79.7	80.5	-0.8	53.0	54.3	-1.3
	理科	61.4	63.2	-1.8	66.6	68.1	-1.5	52.8	55.0	-2.2
	英語	75.8	75.6	0.2	74.2	74.9	-0.7	78.3	76.8	1.5
中2	国語	71.0	71.0	0.0	64.0	63.7	0.3	75.7	76.0	-0.3
	社会	54.1	55.0	-0.9	53.9	55.2	-1.3	54.5	54.4	0.1
	数学	71.8	72.6	-0.8	79.4	80.3	-0.9	60.5	61.0	-0.5
	理科	60.9	62.4	-1.5	66.5	67.9	-1.4	50.3	52.3	-2.0
	英語	66.4	67.8	-1.4	72.2	73.7	-1.5	57.1	58.4	-1.3

※ 塗りつぶした数値(地区)は、設定通過率を下回っている。

2 結果の概要

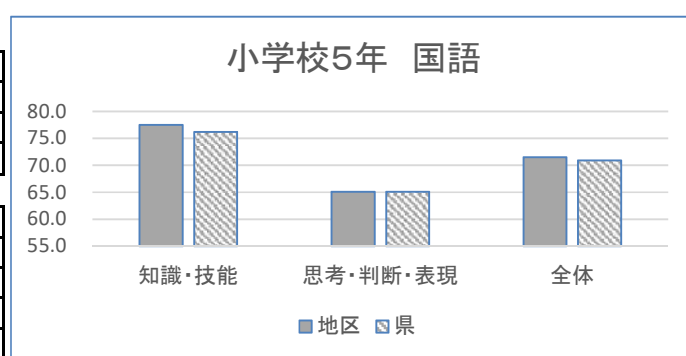
- (1) 小学校では、設定通過率を3教科(国・社・理)で上回り、全ての教科で県平均を上回った。
- (2) 中学校は国語と1年英語、2年数学以外の教科で設定通過率を下回った。また、国語、1年英語以外の教科が県平均を下回った。多くの教科で設定通過率を下回っていることから、復習や個別指導等、確実な定着を図る取組が必要である。



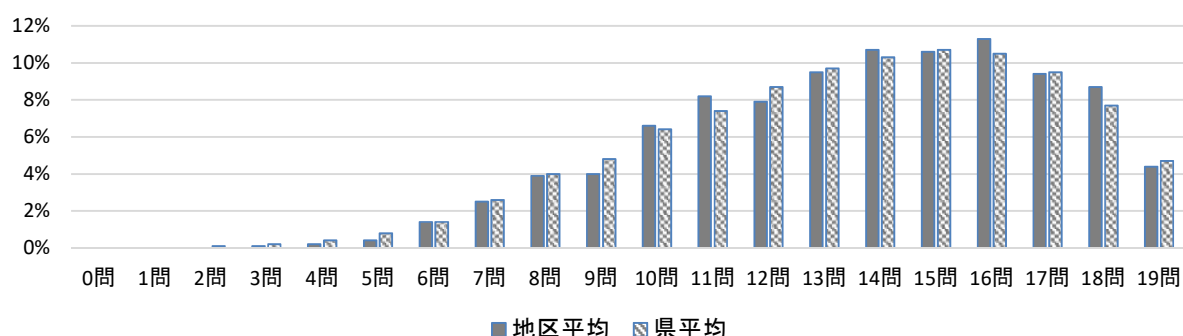
小学校5年 国語

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	77.5	76.2		
思考・判断・表現	65.1	65.1		
全体	71.5	70.9		

領域名	地区	県	自校	県との差
話す・聞く	54.2	55.0		
書く	70.0	70.4		
読む	71.1	69.9		
知識・技能	77.5	76.2		



受検者の正答数の分布 小学校国語



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1							2			3				4				
中間番号	1		2		3	4	5	6	7	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3
小問番号	1	2	1	2															
県通過率	89.2%	95.4%	87.2%	72.9%	79.3%	87.4%	59.0%	50.2%	95.9%	71.8%	84.5%	53.5%	93.4%	71.3%	46.5%	44.5%	46.8%	69.9%	48.3%
地区通過率	87.2%	94.8%	89.1%	74.2%	83.3%	88.7%	61.2%	51.7%	96.3%	72.6%	86.1%	54.7%	93.5%	70.7%	46.0%	48.4%	45.9%	69.8%	47.0%
地区誤答率	12.5%	5.1%	9.9%	22.9%	15.9%	11.1%	38.8%	48.2%	3.6%	26.9%	13.7%	44.7%	6.2%	29.3%	53.8%	46.5%	50.6%	27.0%	48.3%
地区無答率	0.3%	0.0%	0.9%	3.0%	0.8%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.6%	0.2%	0.5%	0.3%	0.0%	0.2%	5.1%	3.5%	3.1%	4.8%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 「意見文の下書き」として、目的に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるか書く問題。([3]4)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 「意見文の下書き」として筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかを問う問題。([3]3)

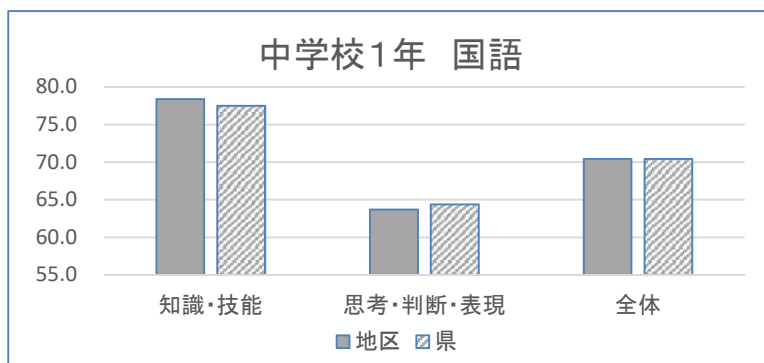
【今後の対策】

- 長い文を読み取る際、どのような内容なのかを理解させるために、考えや意見の交流の時間を取り入れる。
- 「表現する」ことの通過率が低い。無答率も高い状況である。授業で意識的に「書く」活動を取り入れるとともに、書くことへの抵抗感を減らす。
- 書く活動において、「相手意識」をもたせる。「誰に対して、どのようなことを伝えたいのか」を明確にした交流活動を積極的に取り入れ、よい点を挙げさせたり、改善点を伝えたりする。

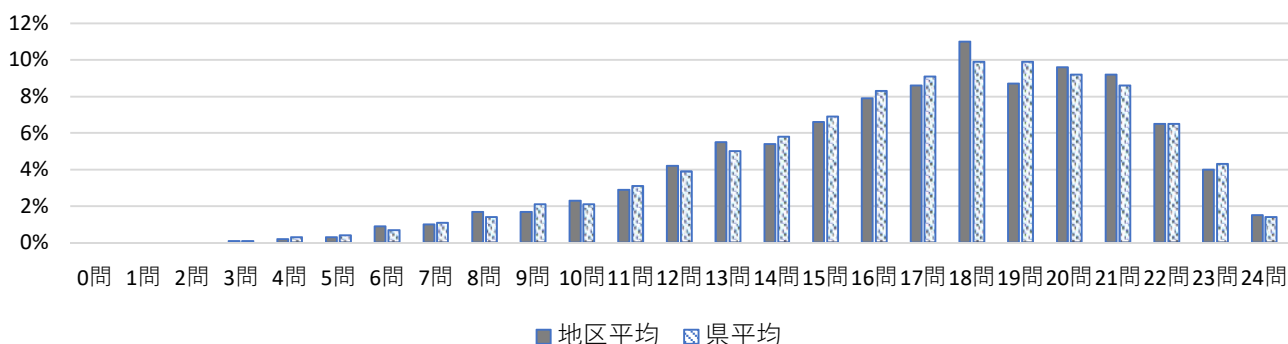
中学校1年 国語

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	78.4	77.5		
思考・判断・表現	63.7	64.4		
全体	70.4	70.4		

領域名	地区	県	自校	県との差
話す・聞く	68.9	69.2		
書く	70.2	70.8		
読む	58.4	55.4		
知識・技能	78.4	77.5		



受検者の正答数の分布 中1 国語



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1											2					3			4				
中間番号	1			2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	
小問番号	1	2	3					1	2	3									①	②				
県通過率	96.6%	99.4%	68.2%	83.2%	43.5%	61.9%	80.3%	53.2%	81.9%	98.0%	86.7%	58.3%	60.8%	51.4%	44.5%	61.9%	57.5%	87.3%	80.5%	57.9%	84.4%	88.6%	37.8%	66.1%
地区通過率	96.0%	99.5%	75.5%	85.8%	45.1%	60.9%	79.1%	55.2%	77.8%	97.9%	89.2%	60.7%	59.0%	48.0%	43.5%	60.8%	53.9%	86.2%	81.6%	59.2%	83.7%	89.0%	38.1%	64.8%
地区誤答率	3.3%	0.5%	12.1%	14.1%	40.6%	39.0%	20.9%	44.7%	19.4%	2.1%	9.5%	39.0%	37.6%	51.5%	55.9%	38.6%	37.9%	7.0%	8.3%	29.4%	14.7%	9.0%	51.0%	16.3%
地区無答率	0.7%	0.1%	12.4%	0.1%	14.3%	0.1%	0.0%	0.1%	2.8%	0.0%	1.3%	0.3%	3.4%	0.5%	0.6%	0.6%	8.2%	6.8%	10.1%	11.4%	1.6%	2.0%	10.9%	18.9%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 漢字の部首名を問う問題([1]3)
 - ・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味の関係から、正しい意味を答える問題([1]6)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 事実や意見との関係などについて、叙述を基に捉える問題([2]2, 3, 4)
 - ・ 集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする問題([3]1)

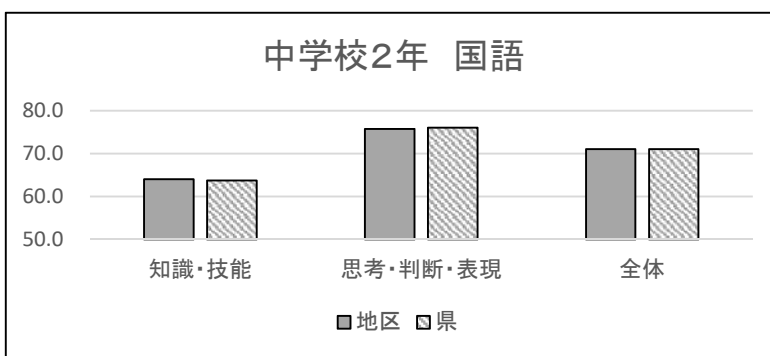
【今後の対策】

- 漢字の部首等に再度着目させるとともに、正しく書き取ることができるよう小テスト等で確認する機会を設定するなどして定着を図る。
- 言葉を手掛かりにするだけでなく、文脈を意識して、観点を定めて読ませたり、事実と意見に注意させながら、筆者の考えを読み取り、自分の考えや意見等を表現させたりする活動を位置付ける。(特に説明文)
- 相手意識をもたせて、根拠を明確にして自分の考えや意見を書かせるとともに、交流活動の中で考えを練り上げる活動を通して、考えや意見を広げさせたり、深めたりさせたりする。

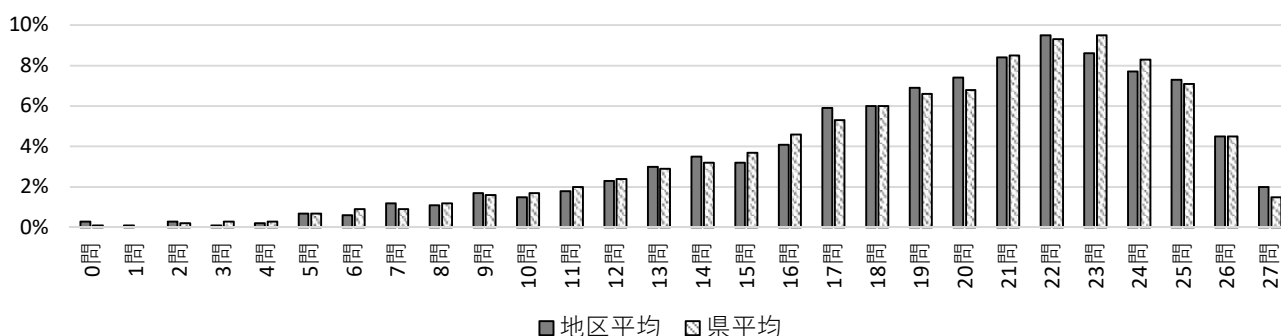
中学校2年 国語

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	64.0	63.7		
思考・判断・表現	75.7	76.0		
全体	71.0	71.0		

領域名	地区	県	自校	県との差
話す・聞く	74.8	75.1		
書く	69.2	69.2		
読む	80.2	80.5		
知識・技能	64.0	63.7		



受検者の正答数の分布 中2国語



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1									2						3			4								
中間番号	1				2	3	4	5			1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	4				
小問番号	1	2	3	4			1	2	3			あ	い		ア	イ			①	②			①	②			
県通過率	62.3%	13.3%	62.3%	60.3%	63.6%	79.9%	46.6%	92.9%	77.4%	85.6%	56.2%	89.3%	91.2%	91.2%	81.9%	59.5%	70.3%	80.1%	72.9%	60.4%	75.4%	67.7%	79.9%	58.9%	73.0%	90.7%	72.6%
地区通過率	62.5%	16.9%	57.3%	61.6%	62.0%	81.9%	44.2%	93.3%	79.4%	87.3%	57.9%	89.5%	91.1%	91.0%	81.8%	59.8%	69.6%	78.3%	72.9%	62.0%	75.1%	66.8%	80.0%	58.0%	72.3%	90.8%	72.8%
地区誤答率	32.6%	77.5%	27.1%	30.4%	37.7%	17.9%	55.4%	5.6%	20.2%	12.3%	41.7%	10.2%	8.3%	8.4%	17.3%	34.9%	23.1%	16.6%	26.3%	37.3%	16.0%	22.8%	18.8%	40.5%	26.2%	1.4%	18.7%
地区無答率	4.9%	5.6%	15.6%	7.9%	0.4%	0.2%	0.4%	1.1%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	0.5%	0.6%	0.8%	5.3%	7.3%	5.1%	0.8%	0.7%	9.0%	10.4%	1.3%	1.5%	1.5%	7.8%	8.5%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 漢字の読み「惜敗」([1] 1 2)
 - ・ 漢字の書き取り「沿って」([1] 1 3)
 - ・ 行書の特徴を理解しているかを問う問題([1] 4)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する問題([4] 2)

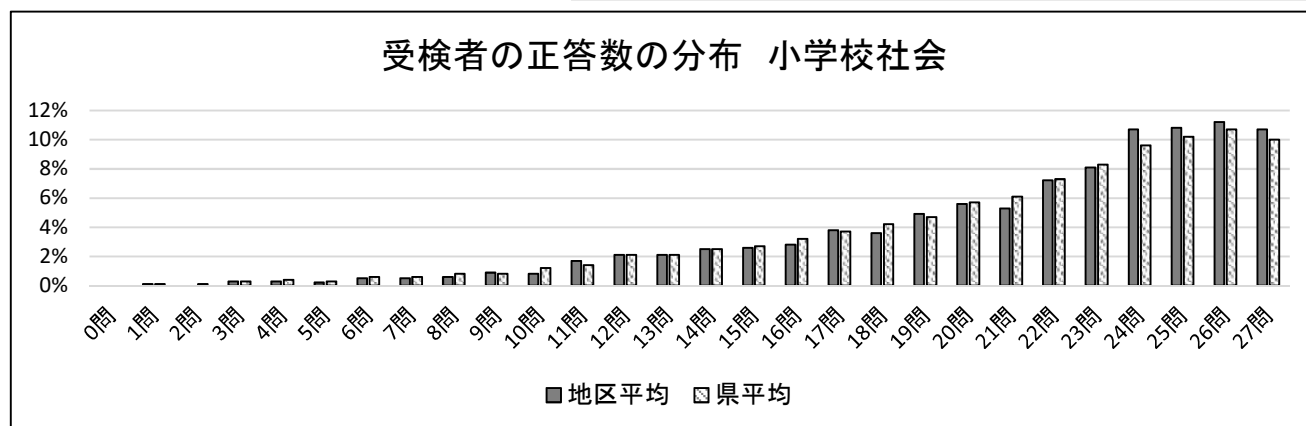
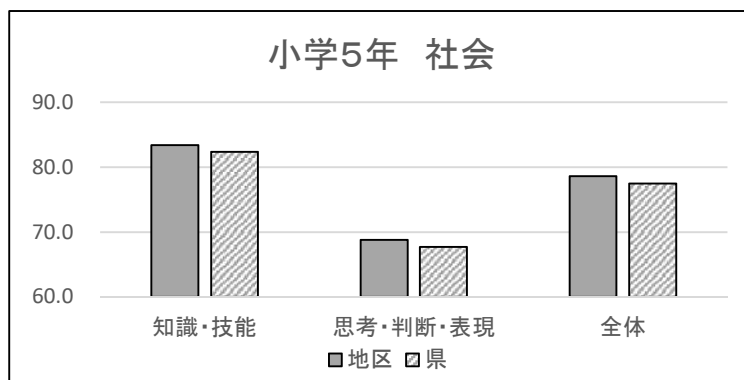
【今後の対策】

- 反復して練習させたり、実際に日記やノートに考えや意見を書く際に活用させるなどして、漢字を正しく読んだり書いたりする機会を増やす。
- 行書は、実際に何度も書かせて、点画の連続や省略について確実に理解するまで指導する。
- 非連続テキストと文章との関連を生徒に考えさせ、気付いたことや分かったことを文章にまとめたり、ペア・グループで交流したりする活動を積極的に取り入れる。
- 相互交流により考えや意見を出し合ったり、教え合ったりする活動を通して、的確に内容を理解させ、目的や状況に応じて自分の考えや意見を表現させたりする活動を通して、伝え合う力を高める。

小学校5年 社会

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	83.4	82.4		
思考・判断・表現	68.8	67.7		
全体	78.6	77.5		

領域名	地区	県	自校	県との差
地形・気候	78.5	78.2		
農業	82.2	81.2		
水産業	71.1	68.6		
工業	79.2	78.4		
貿易	79.1	76.4		



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1				2				3						4			5			6						
中間番号	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3			1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5			
小問番号									1	2	1	2	1	2	3	A	B										
県通過率	92.4%	75.6%	68.5%	81.3%	96.2%	75.8%	61.0%	74.8%	71.7%	86.5%	84.6%	81.8%	85.5%	92.2%	65.7%	67.4%	67.4%	85.4%	55.3%	85.2%	70.3%	59.0%	89.9%	76.7%	89.0%	80.1%	72.7%
地区通過率	93.3%	76.9%	67.1%	80.3%	97.2%	75.3%	62.2%	75.6%	75.7%	86.2%	83.7%	81.0%	85.3%	91.6%	71.7%	69.2%	68.8%	87.1%	59.4%	86.0%	72.3%	55.7%	91.5%	76.5%	93.4%	83.8%	74.4%
地区誤答率	6.0%	23.1%	27.9%	18.0%	2.2%	24.4%	35.3%	22.6%	23.5%	13.0%	16.0%	16.4%	13.0%	6.6%	23.5%	27.9%	28.7%	12.1%	34.6%	13.5%	25.0%	37.6%	5.9%	21.1%	5.2%	14.5%	23.9%
地区無答率	0.7%	0.0%	5.0%	1.7%	0.6%	0.3%	2.5%	1.8%	0.7%	0.8%	0.3%	2.7%	1.6%	1.8%	4.8%	2.9%	2.6%	0.8%	6.0%	0.5%	2.7%	6.7%	2.7%	2.4%	1.4%	1.8%	1.8%

【課題点】

○ 「思考・判断・表現」の課題

- 「水産業」に係る問題で、持続可能な漁業を目指した取組について、資料から読み取ったことを基に説明する問題。〔4〕3
- 「自動車工場」について、現地生産の海外にとってのメリットについて説明する問題〔5〕3

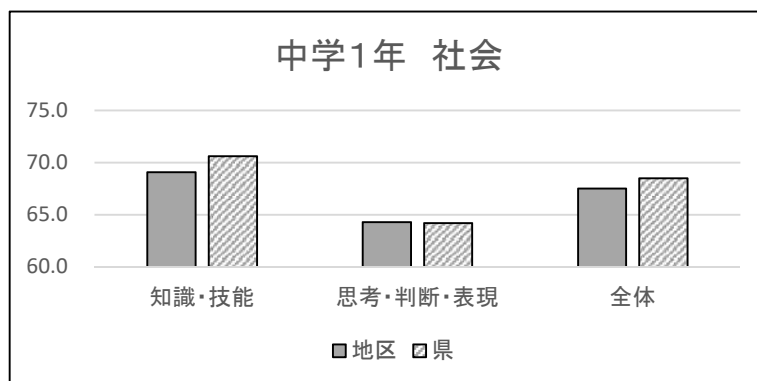
【今後の対策】

- 用語等について確実に理解することができるよう、授業の中で用語を活用して発表させることを徹底する。
- 語句を用いて適切に説明させたり、図表等を読み取り、分かったことやその特徴等を説明させたりすることを通して、説明する力を高める。また、授業で交流させることにより、考えを広げさせたり深めさせたりする。

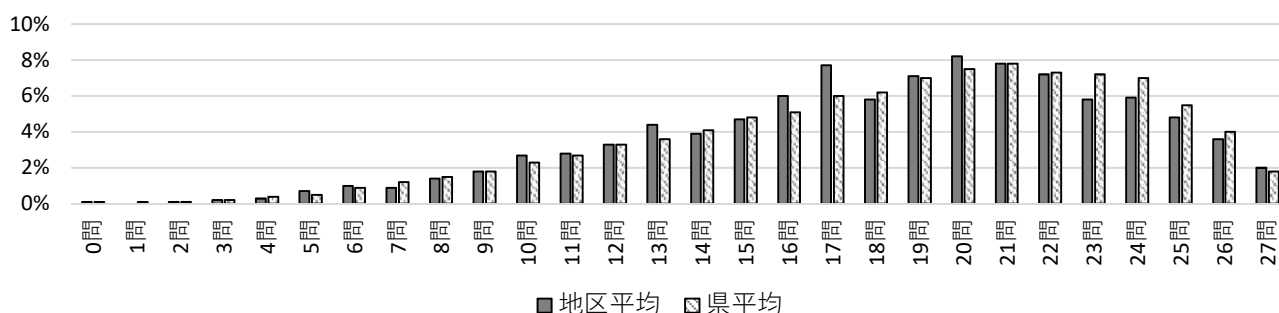
中学校1年 社会

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	69.1	70.6		
思考・判断・表現	64.3	64.2		
全体	67.5	68.5		

領域名	地区	県	自校	県との差
世界の地域構成	54.6	56.7		
人々の生活と環境	70.3	70.7		
世界の諸地域	70.5	68.6		
古代までの日本	67.1	68.9		
歴史のとらえ方	76.7	80.0		



受検者の正答数の分布 中1 社会



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1				2				3						4					5					6		
中間番号	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
小問番号																											
県通過率	77.0%	58.6%	57.8%	33.1%	73.2%	76.5%	48.2%	84.6%	34.4%	89.6%	52.6%	90.0%	80.4%	64.1%	78.0%	34.9%	53.9%	85.8%	51.3%	83.0%	85.5%	64.9%	72.3%	78.4%	80.4%	72.9%	86.8%
地区通過率	76.6%	53.7%	56.0%	32.0%	71.6%	76.0%	48.9%	84.8%	34.0%	88.6%	58.5%	92.1%	83.9%	65.8%	77.3%	27.0%	54.1%	85.6%	49.5%	83.9%	88.8%	65.3%	71.2%	67.8%	80.6%	64.7%	85.0%
地区誤答率	21.9%	46.3%	43.9%	67.3%	28.3%	17.3%	50.7%	14.6%	65.4%	11.1%	33.1%	5.8%	15.5%	25.2%	22.2%	48.4%	34.8%	10.9%	48.7%	15.8%	10.5%	27.8%	18.5%	26.2%	17.8%	29.0%	13.8%
地区無答率	1.5%	0.1%	0.1%	0.7%	0.2%	6.6%	0.4%	0.7%	0.6%	0.3%	8.4%	2.0%	0.6%	9.0%	0.4%	24.5%	11.1%	3.5%	1.7%	0.3%	0.7%	6.9%	10.3%	6.0%	1.6%	6.3%	1.2%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 時差の求め方を問う問題([1]3)
 - ・ 金印と漢の関係について理解し、解答する問題([4]5)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 沖ノ鳥島が存在することによる、排他的経済水域の広さについて答える問題([1]4)

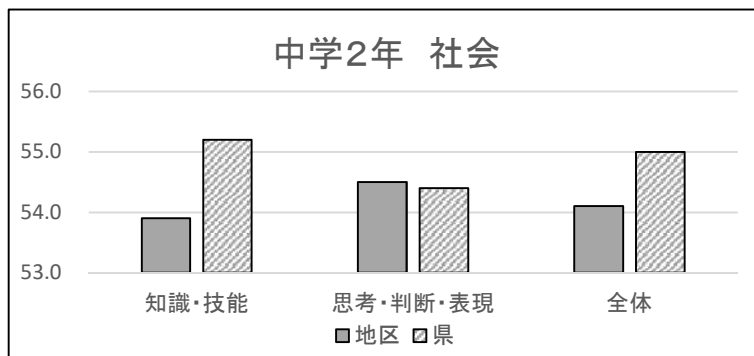
【今後の対策】

- 時差については、課題が長年継続しているので、演習問題等に取り組みせたり、小テスト等で確認したりするなどして、確実な定着を図る。
- 日本と世界の地理的特徴の違い等を理解させるために、生徒に違いをまとめさせた上で交流させたり、演習問題等を活用したりする。
- 表やグラフ、年表や地図といった資料を教科書記述と関連付けて意図的に扱う中で、提示された資料を関連付けたり、比較したりさせる。また読み取ったことを基に、自分の言葉でまとめさせたり、発表させたりすることを通して表現力を高める。

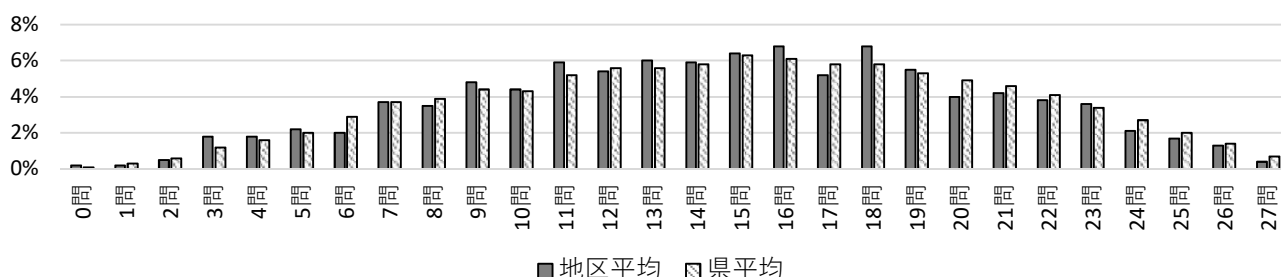
中学校2年 社会

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	53.9	55.2		
思考・判断・表現	54.5	54.4		
全体	54.1	55.0		

領域名	地区	県	自校	県との差
日本の地域構成	70.5	70.5		
日本の地域的特色	57.6	59.6		
日本の諸地域	65.7	85.5		
近世の日本	43.2	44.4		



受検者の正答数の分布 中2 社会



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1				2					3					4					5				6			
中間番号	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4
小問番号																											
県通過率	57.9%	61.6%	67.4%	94.8%	60.7%	69.5%	39.8%	62.7%	65.0%	43.7%	72.4%	76.5%	70.7%	63.9%	46.7%	58.5%	31.9%	34.2%	49.5%	35.8%	65.1%	56.7%	40.0%	48.7%	23.6%	41.0%	44.9%
地区通過率	56.4%	64.0%	66.7%	94.8%	57.1%	69.1%	36.2%	63.0%	62.5%	42.0%	75.7%	79.7%	68.7%	62.6%	45.3%	57.9%	27.2%	35.4%	48.0%	32.0%	67.6%	58.3%	41.9%	49.4%	19.3%	38.9%	40.8%
地区誤答率	43.5%	35.9%	31.5%	3.2%	38.6%	26.6%	61.8%	32.1%	36.8%	57.3%	20.7%	15.8%	30.7%	37.0%	54.0%	41.4%	60.8%	55.5%	51.0%	67.0%	25.4%	29.7%	50.3%	43.7%	79.5%	59.9%	57.8%
地区無答率	0.1%	0.1%	1.8%	2.0%	4.3%	4.3%	2.0%	4.8%	0.7%	0.6%	3.6%	4.5%	0.6%	0.5%	0.6%	0.7%	12.0%	9.2%	1.0%	1.0%	7.0%	12.0%	7.9%	7.0%	1.2%	1.3%	1.4%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 縮尺について理解しているかを問う問題([1]1)
 - ・ 新航路の開拓について理解しているかを問う問題([4]1)
 - ・ 江戸幕府による政治改革の特徴について理解しているかを問う問題([6]2)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 瀬戸内の気候について、雨温図や模式図、季節風との関係から説明する問題([2]2)
 - ・ 宗教改革とその後のヨーロッパの海外進出を結び付けて説明する問題([4]3)

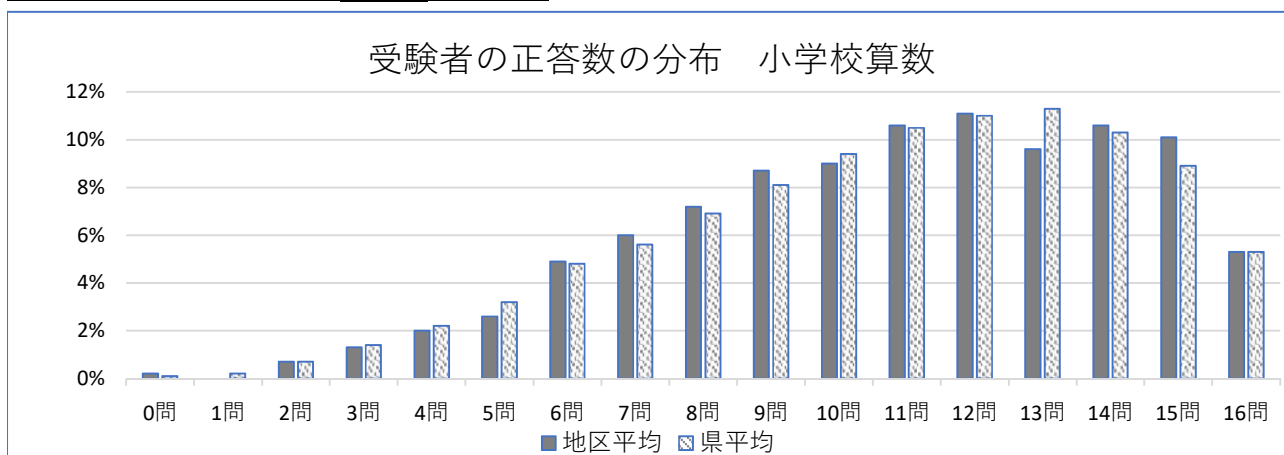
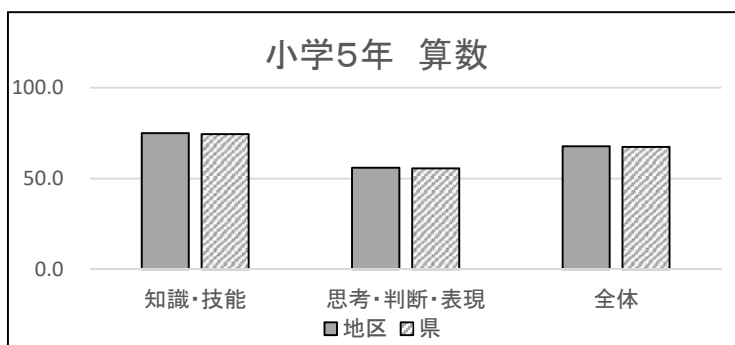
【今後の対策】

- 理解させておくべき事項について、復習や個別指導を通して、確実に定着させる。
- 歴史で登場する作品や文化等については、代表的なもの、特徴的なものを生徒に発表させたり、調べてまとめさせたりすることを通して、生徒の理解につなげる。
- 図表から分かったことや、歴史の事実について背景等を説明する力を高めさせるために教科書や資料集等で扱った資料を根拠に分かったことをまとめさせたり、発表させたりする活動を意識的に位置付けるとともに、教師が必ず見届ける。
- 歴史の出来事等については、どのような内容や目的だったのかを生徒に説明させたり、調べてまとめさせたりする活動を意識的に設定することにより、生徒の理解につなげる。

小学校5年 算数

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	74.9	74.5		
思考・判断・表現	55.8	55.6		
全体	67.8	67.4		

領域名	地区	県	自校	県との差
数と計算	72.9	73.4		
図形	62.4	61.9		
測定、変化と関係	73.5	74.5		
データの活用	62.3	55.6		



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1				2				3				4			
中間番号	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
小問番号																
県通過率	97.0%	80.9%	51.1%	64.7%	51.0%	70.1%	77.6%	47.7%	81.4%	69.0%	84.5%	55.7%	85.3%	65.7%	50.4%	46.3%
地区通過率	97.2%	81.4%	49.9%	63.0%	51.7%	70.8%	78.1%	48.8%	83.0%	71.2%	85.3%	54.6%	87.4%	64.5%	50.8%	46.4%
地区誤答率	2.7%	18.3%	49.8%	30.4%	47.7%	28.9%	21.6%	48.3%	15.2%	24.5%	13.2%	44.4%	12.0%	34.8%	46.1%	47.9%
地区無答率	0.1%	0.3%	0.3%	6.6%	0.6%	0.3%	0.3%	3.0%	1.8%	4.2%	1.5%	1.0%	0.6%	0.6%	3.1%	5.7%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 除法の式の意味を理解しているかを問う問題。([1]3)
 - ・ 図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成する問題。([2]1)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 示された三角形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する問題。([2]4)
 - ・ 速さを求める式と答えを基にどちらが速いか考察する問題。([3]4)
 - ・ 2つのグラフを比較し特徴や傾向から1人あたりのごみの量の増減と理由を記述する問題。([4]3)
 - ・ 2つのグラフを正確に読み取り、変化の様子を説明する問題([4]4)

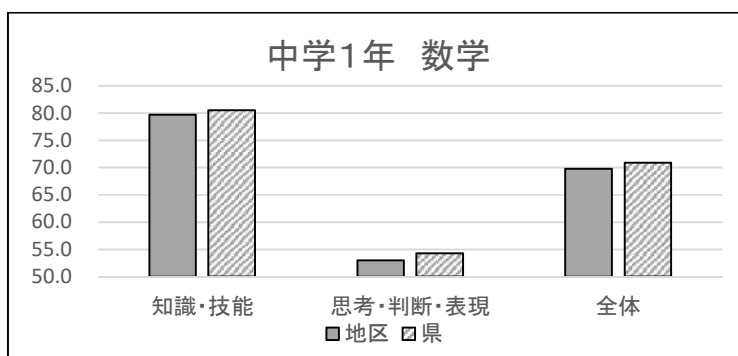
【今後の対策】

- 操作的な活動を取り入れながら、実際に動かしたり、作成したりするなど体験的な学びを通して図形について興味・関心を高める。
- 立式の際、どういう意味があるのかを授業で説明させる場面を設定したり、他の方法はないかを探らせたりするなどの活動を通して、数学的思考力を育成する。
- グラフの読み取りは課題が継続している。傾きだけに着目せず、縦軸の範囲を同じにしたときの変化の仕方を実際のグラフを調べさせることで理解させたり、同じ縦軸のグラフを作成させたりするなど、変化を正しく読み取らせる力を高めさせる。

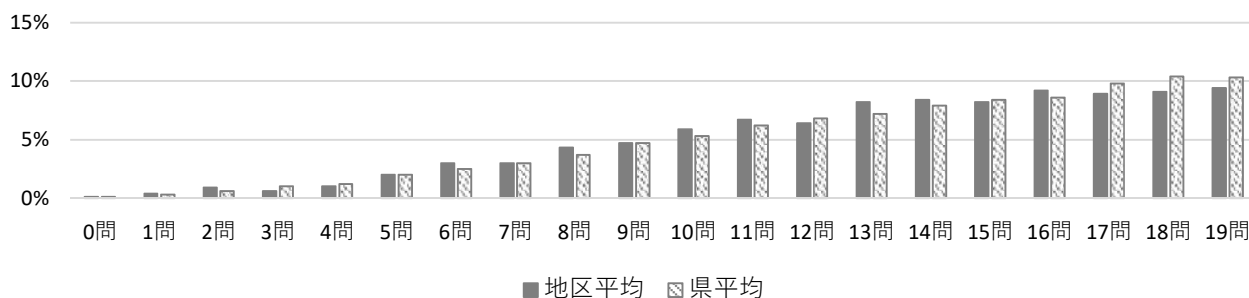
中学校1年 数学

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	79.7	80.5		
思考・判断・表現	53.0	54.3		
全体	69.8	70.9		

領域名	地区	県	自校	県との差
数と式	75.7	76.0		
図形	68.0	70.2		
関数	63.9	64.9		
データの活用	67.0	67.9		



受検者の正答数の分布 中1 数学



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1		2		3			4		5		6	7			8		
中間番号	1	2	1	2	1	2	3	1	2	1	2		1	2	3	1	2	3
小問番号										1	2							
県通過率	93.2%	83.9%	89.0%	79.7%	83.0%	59.4%	52.4%	82.6%	73.9%	90.8%	46.4%	50.1%	68.5%	68.7%	55.7%	66.8%	87.4%	80.4%
地区通過率	93.2%	84.6%	89.4%	79.3%	82.4%	56.2%	50.1%	79.3%	72.1%	89.9%	46.1%	47.2%	68.3%	66.6%	55.0%	65.8%	87.1%	79.6%
地区誤答率	6.8%	13.0%	10.4%	17.0%	17.3%	40.0%	49.0%	16.6%	27.3%	6.6%	49.0%	45.6%	30.9%	29.6%	28.2%	30.1%	10.2%	18.8%
地区無答率	0.0%	2.4%	0.2%	3.8%	0.3%	3.8%	0.9%	4.0%	0.6%	3.5%	4.8%	7.2%	0.8%	3.8%	16.8%	4.1%	2.7%	1.6%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 円柱の見取図や展開図について、辺や面の位置関係を理解し、解答する問題([3]2)
 - ・ 問題の指示された条件に従って、計算結果を求める問題([5]1(2))
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 辺や面のつながりや位置関係に着目し、円柱の展開図をかく方法を考察する問題([3]3)
 - ・ 規則性に気付き、文字式を用いて表現する問題([5]2)
 - ・ 比例の関係を用い、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題([7]2)
 - ・ 適切なグラフを選択しデータの特徴を捉え、問題の結論を考察する問題([8]3)

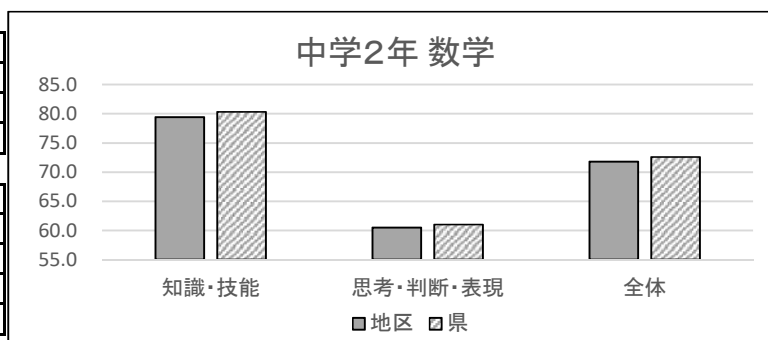
【今後の対策】

- 授業の小テストや家庭学習を通して、計算力を高める。
- 小学校で学んだことと関連させながら図形の面積を求めたり、作図をさせたりしながら展開図を理解するなど確実な定着を図るとともに、演習問題等で計画的・継続的な取組を行う。
- 設問の意図を理解しているかを生徒に説明させたり、自分の考えをグラフや立式を基に説明させたりする機会を、授業で必ず設定する。
- ヒストグラムの読み取りに慣れさせるために、どのようなことが分かるかをペアやグループで確認させたり、活用方法や求められている数値を生徒に説明させたりすることを積極的に行う。

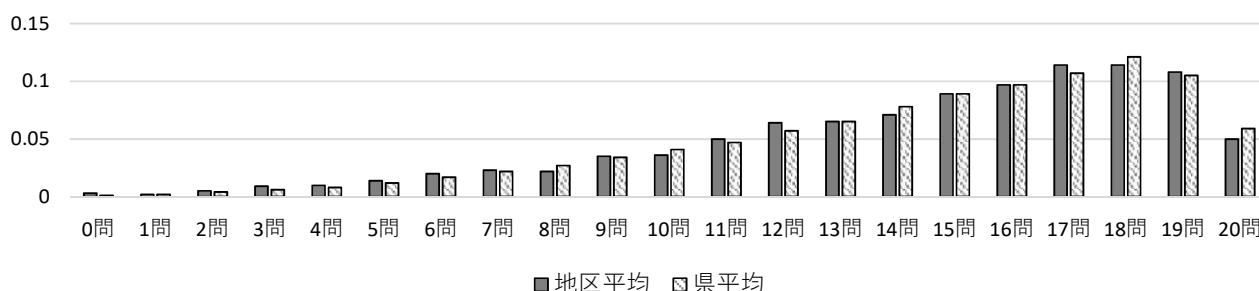
中学校2年 数学

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	79.4	80.3		
思考・判断・表現	60.5	61.0		
全体	71.8	72.6		

領域名	地区	県	自校	県との差
数と式	73.9	74.2		
図形	69.6	71.2		
関数	74.8	80.3		
データの活用	65.7	61.0		



受検者の正答数の分布 中2 数学



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1				2		3		4			5			6			7		
中間番号	1	2	3	4	1	2	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
小問番号																				
県通過率	89.1%	79.3%	72.1%	94.1%	91.5%	76.7%	89.7%	76.6%	85.2%	44.4%	55.1%	74.2%	60.2%	55.1%	82.2%	89.6%	37.1%	70.3%	89.7%	39.2%
地区通過率	88.3%	80.6%	73.1%	94.0%	91.4%	74.7%	88.8%	73.7%	82.6%	44.1%	54.9%	73.2%	57.0%	55.4%	82.6%	89.1%	36.2%	68.3%	89.3%	39.4%
地区誤答率	10.1%	17.8%	19.0%	2.9%	7.9%	24.9%	9.7%	25.7%	13.6%	41.1%	42.7%	22.8%	36.2%	43.2%	14.0%	9.5%	61.9%	27.0%	8.9%	47.7%
地区無答率	1.5%	1.7%	8.0%	3.1%	0.6%	0.5%	1.5%	0.5%	3.8%	14.7%	2.4%	4.0%	6.9%	1.4%	3.5%	1.3%	1.9%	4.7%	1.8%	12.9%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 三角形の2つの内角の和から、となり合わない外角の大きさを求める問題([5]2)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 目的に応じた式の変形や意味から、事柄が成り立つ理由を説明する問題([4]2)
 - ・ 数学的な結果を事象に即して解決し、事柄の特徴を数学的に説明する問題([4]3)
 - ・ 証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだすことができるかを問う問題([5]3)
 - ・ 比例の考え方が利用されていることを見いだすことができるかを問う問題([6]3)
 - ・ データの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題([7]3)

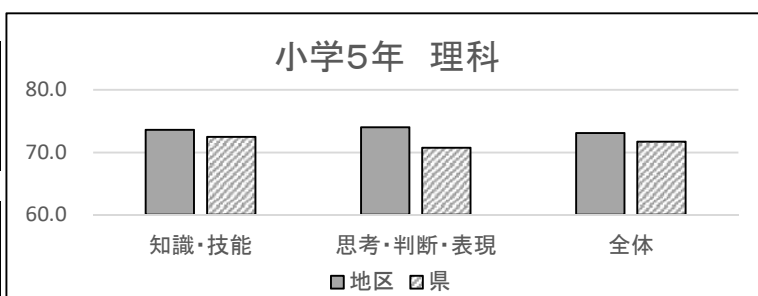
【今後の対策】

- 小テストや家庭学習を通して、様々な計算に取り組ませ、計算力を高める取組を継続する。
- 「見通し」の段階で、根拠をもって課題の解決方法を考えさせたり、対話的な活動(練り上げ)の際、式やグラフ等を用いて説明させ合ったりする活動を意識的に設定する。
- 図形の問題に対する平均通過率が県を下回っていることから、ICT機器等を活用して説明させる活動を取り入れる。また、演習問題等を活用して、確実な定着を図る。
- データの活用に代表されるように、年度末に扱う内容に関しては、グループやペアで説明させたり、演習問題等に取り組ませたりするなどして確実に理解させる。また、「箱ひげ図」については全国学調にも出題されるので、何を示しているのか説明できるようにさせる。

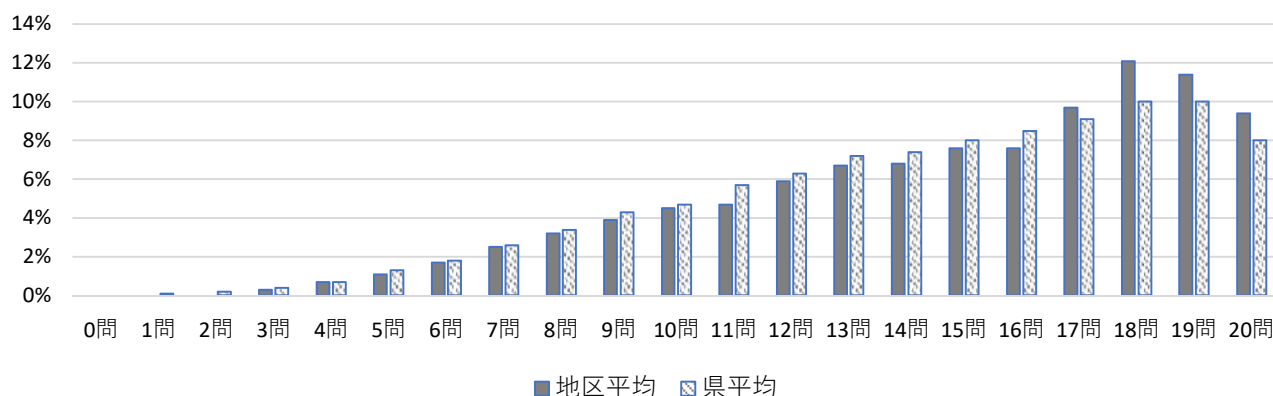
小学校5年 理科

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	73.6	72.5		
思考・判断・表現	74.0	70.7		
全体	73.1	71.7		

領域名	地区	県	自校	県との差
物質・エネルギー	72.8	70.8		
生命・地球	74.4	72.6		



受検者の正答数の分布 小学校理科



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1		2		3		4		5			6				7				
中間番号	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	5
小問番号																				
県通過率	93.1%	62.9%	66.5%	83.1%	55.6%	52.1%	82.0%	86.4%	60.2%	73.1%	76.2%	88.5%	70.5%	80.5%	55.1%	71.2%	48.8%	64.6%	87.6%	75.1%
地区通過率	93.7%	62.6%	65.7%	84.2%	60.6%	59.2%	83.9%	85.5%	66.0%	74.3%	75.8%	88.9%	72.1%	81.9%	59.4%	74.0%	49.3%	67.9%	89.1%	78.2%
地区誤答率	6.2%	36.4%	34.2%	15.5%	39.2%	40.8%	16.1%	13.1%	33.6%	25.6%	24.0%	9.9%	27.9%	16.8%	39.2%	25.8%	50.5%	31.3%	9.9%	21.6%
地区無答率	0.1%	1.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	1.3%	0.3%	0.1%	0.2%	1.1%	0.0%	1.3%	1.4%	0.1%	0.2%	0.8%	1.0%	0.2%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 乾電池2個のつなぎ方と電流の大きさや向きを問う問題。([3]2)
 - ・ 方位磁針の正しい使い方を理解しているかを問う問題。([7]2)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 時間がたつと水に溶けていたミョウバンが再結晶して見えるようになった要因について、実験結果を基に、水温と水に溶ける量とを関係付けて説明する問題。([6]4)

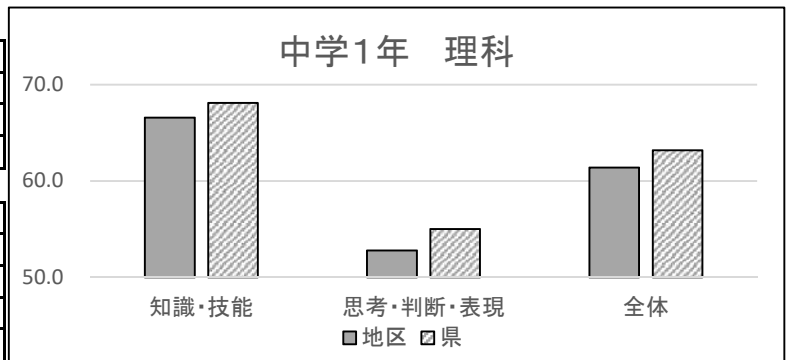
【今後の対策】

- 授業で、日常における具体的な場面や自然の事物・現象を基に「どうしてだろう」という問題意識をかき立てた上で、観察、実験を行わせたり、作成したグラフや図等を基に、他の条件での実験結果を予想させたりする。
- 物質の状態変化については、課題が継続している。概念を確実に理解できるよう、モデル図等を活用したり、互いに説明させたりするなど工夫して理解させる。
- 電流はこれまでも課題が継続しているが、改善に至っていない。着実に理解を図るよう、ポストテストや演習問題等を活用する。

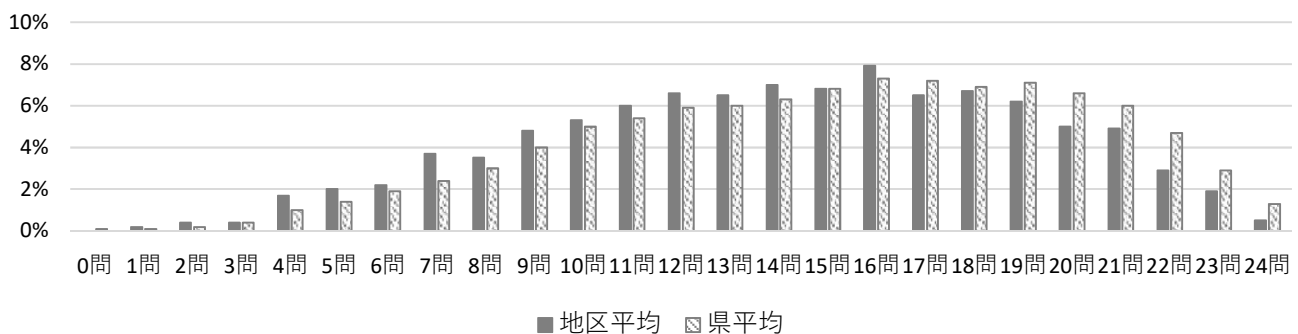
中学校1年 理科

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	66.6	68.1		
思考・判断・表現	52.8	55.0		
全体	61.4	63.2		

領域名	地区	県	自校	県との差
エネルギー	63.4	67.3		
粒子	58.5	59.8		
生命	73.9	73.8		
地球	40.9	44.0		



受検者の正答数の分布 中1 理科



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1			2			3			4			5			6			7			8		
中間番号	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
小問番号																								
県通過率	76.0%	64.1%	63.2%	85.8%	85.4%	68.1%	66.2%	69.5%	53.5%	71.3%	70.4%	64.9%	63.3%	75.5%	42.7%	95.5%	59.3%	67.6%	66.0%	31.1%	45.6%	45.8%	43.3%	43.0%
地区通過率	75.6%	65.8%	63.8%	84.4%	85.5%	68.2%	68.9%	71.8%	50.1%	71.7%	69.9%	59.0%	53.4%	66.8%	40.8%	94.7%	57.7%	67.0%	63.9%	28.1%	43.6%	42.4%	42.2%	38.2%
地区誤答率	24.4%	34.0%	33.9%	13.1%	14.3%	31.7%	29.9%	26.5%	49.5%	27.9%	29.9%	29.7%	38.7%	30.8%	58.2%	5.0%	42.0%	32.5%	35.6%	61.3%	55.2%	56.5%	53.0%	60.6%
地区無答率	0.0%	0.2%	2.3%	2.4%	0.3%	0.1%	1.2%	1.7%	0.4%	0.4%	0.3%	11.3%	8.0%	2.4%	1.0%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	10.6%	1.2%	1.1%	4.8%	1.1%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 実像の基本的な作図をさせる問題([5]2)
 - ・ 流れる水の働きによってできる粒子の特徴を理解しているかを問う問題([8]1, 2)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 密度の定義を理解し、応用して考えることができるかを問う問題([3]3)
 - ・ 沸点の違いから、混合物から物質を分離できることを説明する問題([4]3)

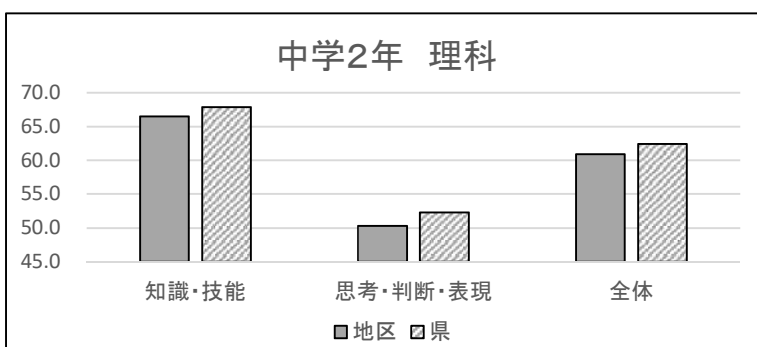
【今後の対策】

- ポストテストや演習問題等を通して、学習した内容の定着を図る取組を一層進める。
- 実験活動を通して、生徒が理解したり、気付いたりしたことを文章でまとめさせる。
- 目に見えない事象については、実験だけでなく、ICT機器等や各種資料等を活用して視覚化し、イメージを捉えさせるなど工夫しながら、確実な定着を図る。
- 結果を分析、解釈させる場面では、「共通点と相違点」「比較」「関係付け」を意識させて、分かったことを表現させる活動を取り入れて、学びを深めさせる。

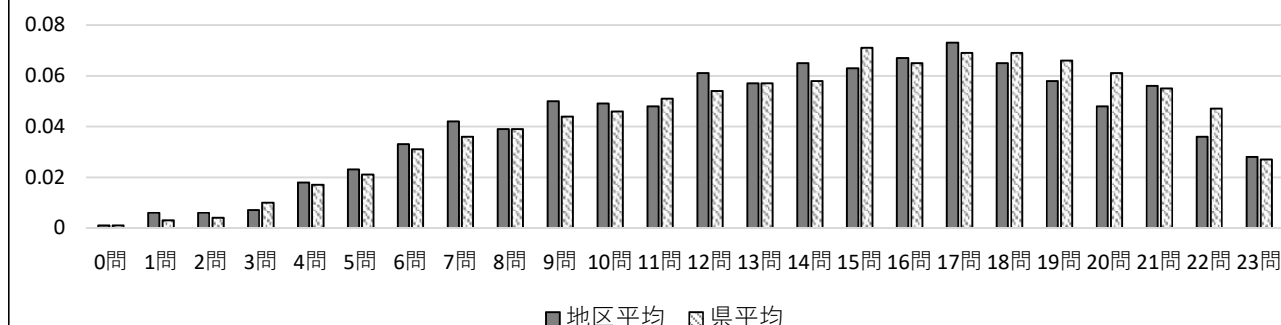
中学校2年 理科

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	66.5	67.9		
思考・判断・表現	50.3	52.3		
全体	60.9	62.4		

領域名	地区	県	自校	県との差
エネルギー	67.2	69.3		
粒子	66.9	68.7		
生命	57.1	58.5		
地球	55.4	56.7		



受検者の正答数の分布 中2理科



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1			2			3				4			5			6			7			
中間番号	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
小問番号																							
県通過率	83.3%	61.4%	52.8%	89.6%	39.8%	24.1%	46.4%	89.2%	46.8%	70.1%	86.0%	79.8%	62.0%	82.3%	67.6%	58.1%	58.8%	44.1%	78.2%	86.2%	47.1%	22.1%	60.6%
地区通過率	82.1%	59.2%	51.7%	88.5%	37.8%	23.5%	39.3%	88.8%	45.8%	69.0%	84.5%	80.5%	60.6%	82.4%	66.3%	53.1%	58.5%	44.4%	78.0%	85.6%	43.4%	20.0%	57.9%
地区誤答率	17.3%	38.1%	44.8%	11.1%	58.9%	74.5%	52.5%	8.8%	46.2%	26.0%	14.8%	18.7%	34.5%	16.6%	32.9%	44.5%	38.3%	54.2%	20.8%	13.3%	51.4%	76.7%	40.3%
地区無答率	0.6%	2.7%	3.5%	0.4%	3.3%	2.1%	8.2%	2.4%	8.0%	5.0%	0.6%	0.8%	4.9%	1.0%	0.8%	2.5%	3.2%	1.4%	1.2%	1.1%	5.2%	3.3%	1.7%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 蒸散と吸水の関係を正しく理解しているかを問う問題([1]3)
 - ・ 細胞による呼吸を理解しているかを問う問題([2]3)
 - ・ 酸化銅の化学式を書く問題([3]1)
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ 養分の多くが小腸から吸収されることを、理由も併せて答える問題([2]2)
 - ・ 銅と酸素の化合比を利用して、酸化銅の質量を求める問題([3]3)
 - ・ 飽和水蒸気量のグラフと露点から、湿度を求める問題([7]2)

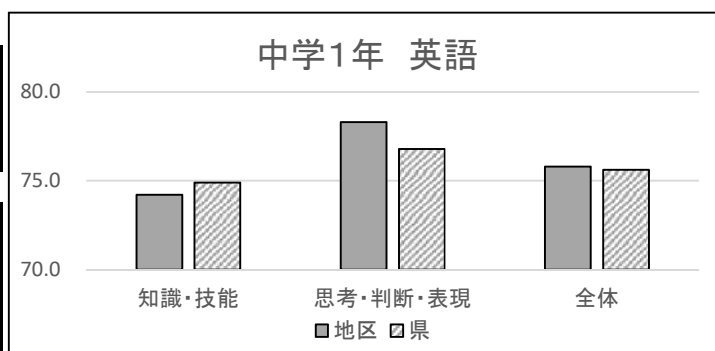
【今後の対策】

- 植物や動物のつくりやはたらきについては、図化するなどさせて確実な理解を図る。
- 単元への興味・関心や課題意識を高めさせるために、導入時に演示実験等を通して疑問をもたせたり、違いを見つけさせた上で課題解決的な学習を展開する。
- 物体に働く力については、資料を活用したり、演習問題等に取り組みせたりして理解させる。
- 物質の質量変化や化学式については、ペア・グループで交流を通して説明させるなどして、確実に理解させる。
- 図表・グラフを読み取らせる力を高め、求められている数値等を答えられるよう、ポストテストや演習問題等を活用するなどして、確実な定着を図る。

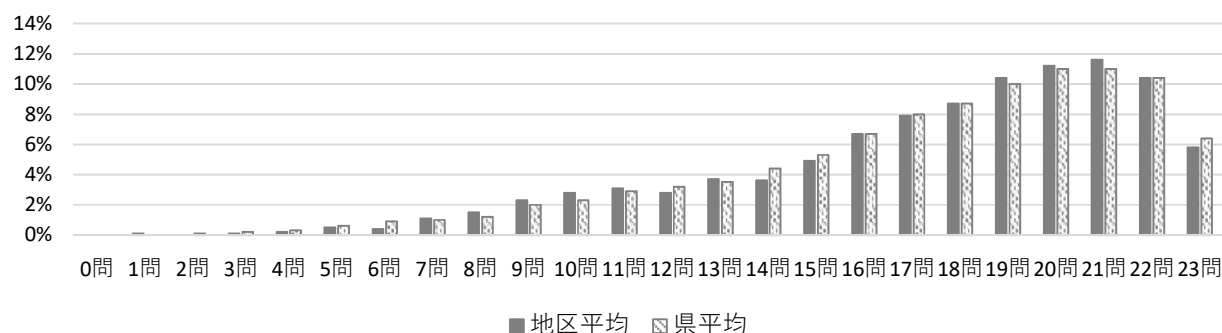
中学校1年 英語

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	74.2	74.9		
思考・判断・表現	78.3	76.8		
全体	75.8	75.6		

領域名	地区	県	自校	県との差
聞くこと	77.6	77.8		
話すこと	73.6	73.9		
読むこと	75.4	75.6		
書くこと	72.8	71.3		



受検者の正答数分布 中1 英語



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

【小問ごとの通過率等】※空白部分の数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題																							
大問番号	1			2			3	4	5		6	7		8		9	10	11		12	13		
中間番号	1	2	3	1	2	3			1	2		1	2	1	2			1	2		A	B	
小問番号														1	2								
県通過率	94.2%	91.0%	50.4%	80.6%	86.9%	41.0%	77.5%	78.4%	95.3%	83.4%	79.1%	79.1%	72.3%	75.8%	84.2%	79.5%	63.9%	71.3%	75.4%	78.6%	54.8%	89.7%	58.8%
地区通過率	93.3%	89.3%	47.7%	81.8%	87.1%	40.2%	78.8%	77.6%	95.5%	84.1%	77.7%	78.1%	73.8%	75.4%	84.1%	79.7%	62.1%	72.0%	74.9%	75.0%	56.1%	92.1%	66.5%
地区誤答率	6.7%	10.7%	52.3%	18.2%	12.9%	59.7%	21.2%	22.3%	4.3%	12.5%	22.2%	21.9%	26.1%	24.4%	15.7%	20.1%	37.3%	21.6%	24.5%	24.3%	38.7%	5.0%	30.6%
地区無答率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	3.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.6%	6.4%	0.6%	0.7%	5.2%	2.9%	2.9%

【課題点】

○ 「知識・技能」の課題

- 英語を聞いて、正しい日付を答える問題([1]3)
- 英語を聞いて、勧誘に対して勧誘に対して適切に答える問題([2]3)
- 対話の流れから判断し、適切な語を補って表現する問題([12])

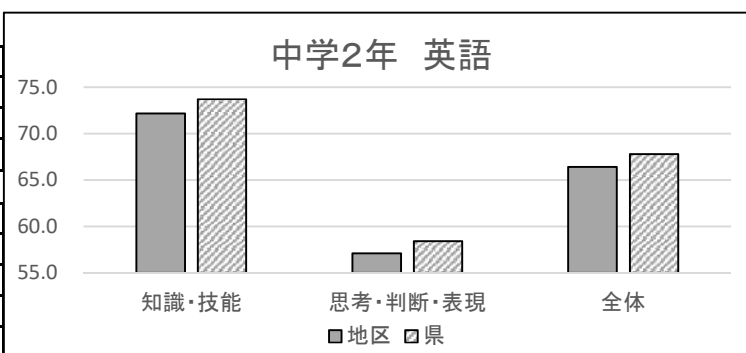
【今後の対策】

- 聞き取ったことや読み取ったことを発話又は発表させたり、ペアやグループで確認させたりしながら、学習を進める。
- 英文を聞いたり、読んだりすることを通して、大まかな内容を捉えるのか、大切なところを捉えさせるのかといった目的を明確にする。その際、生徒自身の気づきや判断を大切に、書いたり、話したりする活動へとつなげる。
- 英文を書く機会（自分の考え、分かったこと等）を増やし、書くことの抵抗感を低減させる。
- まとまりのある文章を読むことに慣れさせるために、生徒のレベルに合わせた英文を読ませたり、演習問題等を活用したりする。

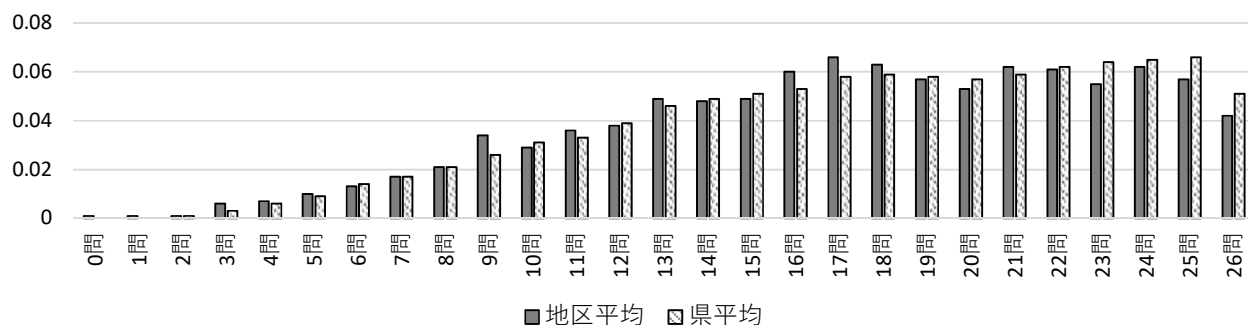
中学校2年 英語

	地区	県	自校	県との差
知識・技能	72.2	73.7		
思考・判断・表現	57.1	58.4		
全体	66.4	67.8		

領域名	地区	県	自校	県との差
聞くこと	71.4	71.8		
話すこと	63.0	64.8		
読むこと	74.1	75.5		
書くこと	53.0	55.3		



受検者の正答数の分布 中2 英語



【小問ごとの通過率等】※塗りつぶした数値は、誤答率・無答率が40%以上の問題

大問番号	1			2	3		4	5			6			7		8	9			10	11			12		
中間番号	1	2	3		1	2		1	2		1	2	3	1	2		1	2	3		1	2	3	A	B	
小問番号									1	2			1	2												
県通過率	66.9%	86.1%	93.9%	75.1%	68.0%	70.1%	42.5%	71.7%	69.7%	91.8%	81.7%	90.2%	93.6%	93.9%	56.4%	58.9%	47.4%	79.6%	63.7%	66.5%	48.3%	66.8%	53.8%	42.9%	59.1%	25.0%
地区通過率	64.9%	86.7%	94.3%	75.4%	68.2%	70.4%	40.0%	70.0%	69.5%	90.8%	80.6%	87.9%	91.4%	92.7%	54.8%	58.1%	44.6%	81.9%	63.1%	68.1%	44.0%	60.7%	49.3%	39.5%	57.9%	20.9%
地区誤答率	35.0%	13.3%	5.7%	24.5%	31.6%	29.2%	42.4%	29.4%	30.0%	8.7%	18.9%	11.4%	7.9%	6.5%	44.5%	40.8%	36.5%	17.2%	36.0%	30.7%	51.8%	33.2%	43.2%	51.3%	28.6%	65.5%
地区無答率	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	17.7%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	1.1%	18.9%	0.9%	0.9%	1.2%	4.2%	6.1%	7.5%	9.2%	13.5%	13.6%

【課題点】

- 「知識・技能」の課題
 - ・ 対話文中の空所に当てはまる表現を、適切な英語を用いて表現する問題（[10]）
 - ・ 三人称単数現在時制の肯定文などを活用しながら書く問題（[11] 2）
 - ・ 三人称単数現在時制の英文を不定詞の名詞的用法を用いて書く問題（[11] 3）
- 「思考・判断・表現」の課題
 - ・ （聞き取り）把握した内容について、適切に応じるため1分で書く問題（[1] 4）
 - ・ まとまりのある英文を読んで、文章構成の理解を問う問題（[7] 1）
 - ・ 書かれた内容に対して、話の内容を捉え、自分の考えを英文で示す問題（[8]）

【今後の対策】

- 「聞くこと」については、日常的に1度で聞き取れることを目指した指導を行う。
- 普段から英文を書かせる取組を継続し、書くことに慣れさせ、正しい文法を用いて表現する力を高める。また、一文からでもよいので、「書く」ことに取り組ませていく。
- 習得した知識・技能を活用させ、ポストテストや活用問題等に取り組ませることにより、確実な定着を図る。
- まとまりのある英文を生徒に読ませる機会を増やすとともに、意識的に読む機会を設定して読むことに慣れさせる。

令和4年度 学校質問紙, 児童・生徒質問紙から

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善において、特に重視すべき項目の調査結果です。中学校は、小学校と比較して「よく行った」と回答している割合が低いことが分かります。「どちらかといえばよく行った」学校が、「よく行った」と自信をもって回答できるようにするにはどうすればよいか、考えてみましょう。

【学校質問紙から】

- 調査対象学年の児童生徒に対して、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。

回 答	小学校	中学校	自校
よく行った	40.9%	14.3%	
どちらかといえばよく行った	53.0%	76.2%	
あまり行わなかった	6.1%	4.8%	
行わなかった	0.0%	0.0%	

- 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。

回 答	小学校	中学校	自校
よく行った	34.8%	9.5%	
どちらかといえばよく行った	60.6%	76.2%	
あまり行わなかった	4.5%	14.3%	
行わなかった	0.0%	0.0%	

- 調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

回 答	小学校	中学校	自校
よく行った	36.4%	9.5%	
どちらかといえばよく行った	62.1%	85.7%	
あまり行わなかった	1.5%	4.8%	
行わなかった	0.0%	0.0%	

- 調査対象学年の児童生徒に対して、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。

回 答	小学校	中学校	自校
よく行った	40.9%	23.8%	
どちらかといえばよく行った	59.1%	71.4%	
あまり行わなかった	0.0%	4.8%	
行わなかった	0.0%	0.0%	

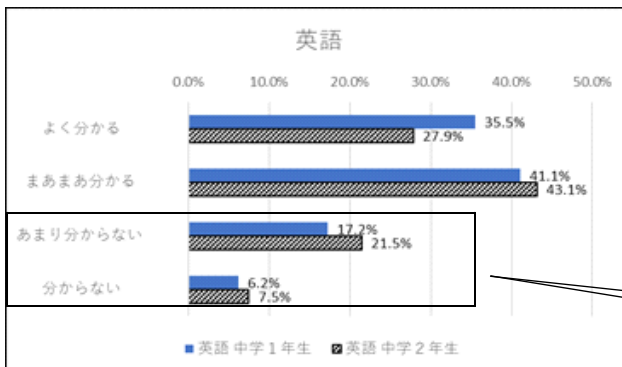
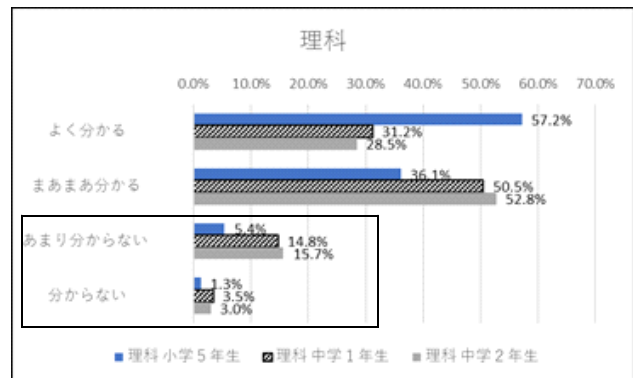
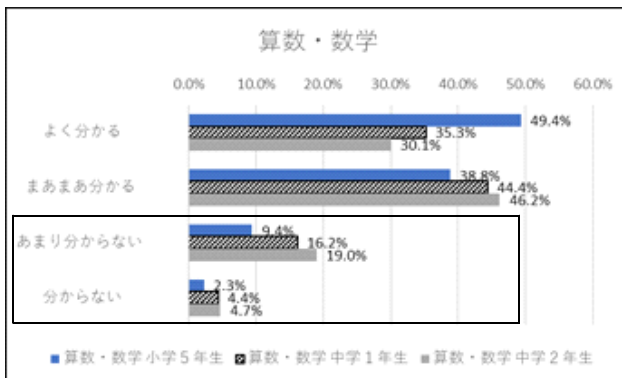
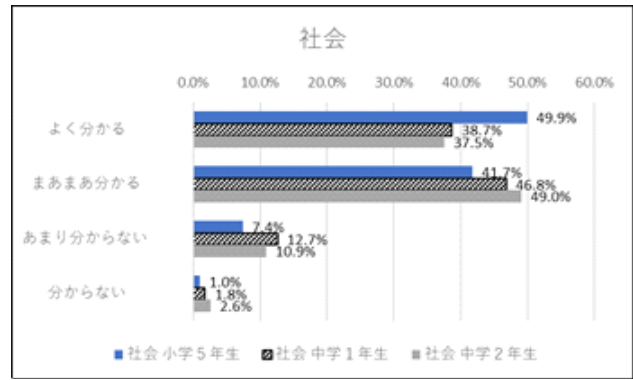
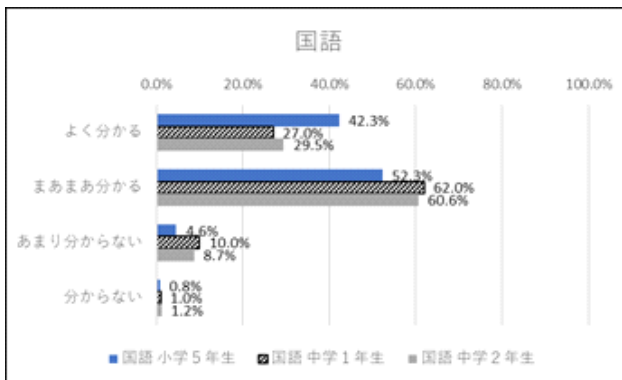
- 調査対象学年の児童生徒に対して、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。

回 答	小学校	中学校	自校
よく行った	45.5%	23.8%	
どちらかといえばよく行った	54.5%	76.2%	
あまり行わなかった	0.0%	0.0%	
行わなかった	0.0%	0.0%	

【今後の対策】

【児童・生徒質問紙から】

○ 授業は、よく分かりますか。



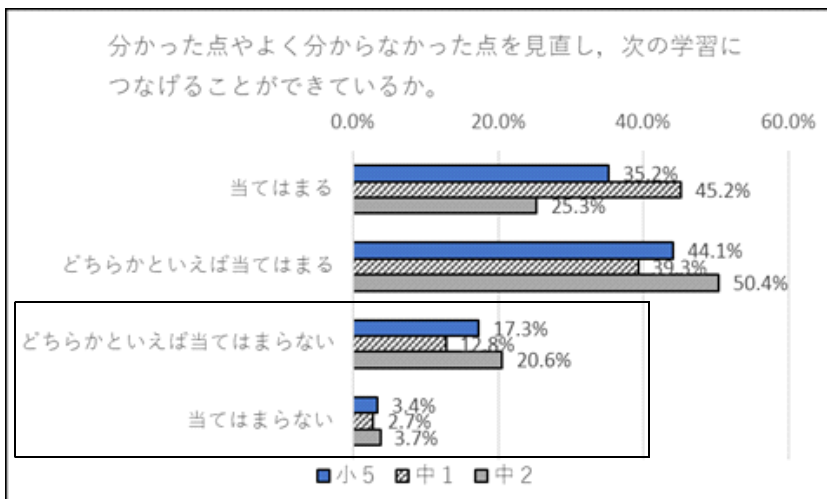
【概要】

算数・数学は、「あまり分らない」「分からない」の割合が、徐々に高くなっている。

理科も小学校から中学校にかけて、同様の状況が見られる。英語は、1年生の段階で「あまり分らない」「分からない」の割合が20%を超え、2年生では30%に迫っている。

「分からない」ままにさせないために、児童生徒が分かるまで、個に応じた指導を粘り強く行う。

○ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



【概要】

分かったことやよく分からなかったことを見直し、次の学習につなげることについて、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合は約20%である。

「分かった」「できた」を実感させるために、児童生徒の実態をしっかりと把握するとともに、確実に理解させ、見届ける指導を徹底する必要がある。